

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名> パーキンソン病患者に対する脳深部刺激療法の日常動作における長期効果の検討
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 脳神経外科 (研究責任者) 青木 宏之
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2021年 3月 31日
<研究の目的と意義> 当院で両側視床下核刺激電極留置術を行ったパーキンソン病患者さんを対象とし臨床研究を行います。当該研究では、術前および術後の運動機能や認知機能、日常生活自立度等の経時的データを診療記録から集め解析を行います。研究の目的は術後 10 年の日常生活自立度を保つ要因を調べることです。本研究の意義として術前の検査データから手術の長期成績を予測することができるようになる可能性があります。
<利用する試料・情報の項目> 診療記録、検査データ
<対象となる患者さん> 1997年7月1日～2009年3月31日までの期間に当院脳神経外科で両側視床下核刺激電極植え込み術を行った方
<研究の方法> 術前および術後の運動機能や認知機能、日常生活自立度等の経時的データを診療記録から集め統計解析を行います。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 脳神経外科 氏名:青木 宏之 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2341 (PHS)8565